YA新着 ピックアップ (3/1~5/24 入荷分)

このほかの新着本は、図書館ウェブサイトより、資料検索・予約 新着資料にて **チェックすることができます♪**

タイトル	著者 等	出版社	
17音の青春 2024	学校法人神奈川大 学広報委員会/編	精興社	高校生たちが、17文字で綴るメッセー ジ集。静岡の高校も参加しています。
<本の姫>は歌う 	多崎礼/著	講談社	少年と本に宿る〈本の姫〉の冒険ファンタジー(全4巻)。壮大な世界観に圧倒されます。
画の悲み	国木田独歩/著 Miyα/画	文研出 版	嫉妬・羨望から始まる二人の少年の成 長が、軽妙なイラストと共に描かれて います。
刑の重さは何で 決まるのか	高橋則夫/著	筑摩書 房	懲役や執行猶予とは何か、どういう基準で刑の重さが決まるのかわかりやす く解説している一冊です。
君の物語が 君らしく	澤田英輔/著	岩波書店	あなたの中にある記憶や感情、物語 を、楽しく文章に表現するための力を 与えてくれます。
今日から使える 心理学	文響社/編	文響社	人の心の癖や傾向がわかるようになる。今すぐ君の武器になる、心理学の 入門書!
特殊効果技術者になるには	小杉眞起・ 山田幸彦/著	ぺりか ん社	映画の歴史とともに進化を遂げてきた 特殊効果の現在とこれからをプロに聞 きます。
わからない世界と 向き合うために	中屋敷均/著	筑摩書 房	先がわからない世界の中、自分の責任で人生の選択をして自分の人生を 生きてほしい
世界を巡る 満月珈琲店	桜田千尋/著	主婦の 友社	美しくて幻想的なメニューのイラスト&レシピ集。おなかも心も満たされます!
13歳からの自分 の心を守る練習	谷本惠美/著	PHP 研 究所	悩んだ時に心を軽くするためのヒント が詰まっています。
つながる読書	小池陽慈/編	筑摩書 房	14名の執筆者が推しの 冊をプレゼン。 本で他者とつながる面白さを感じてみよう。

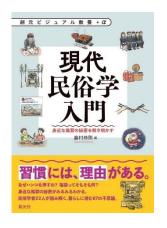
Library,Letter,Life…Lmagazine の"L"には、いろんな"L"がつまっています

静岡市立図書館 YA 担当/編集·発行

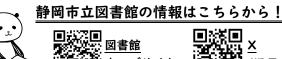
[2024] July I vol. 143

☆ 新着イチオシ! *☆ ★

- 『現代民俗学入門 身近な風習の秘密を解き明かす 創元ビジュアル教養+α』
- 島村 恭則/編 創元社
- ♦ 昔から伝わる伝統的な風習からネットミームまで、身近 な文化を民俗学の視点からイラストや写真を使ってわ かりやすく解説。
- ◆ タイトルだけを見ると構えてしまうかもしれません。しかし 開いてみると、面白い見出し、わかりやすいイラスト、興 味を引くコラムなど、わかりやすく読みやすい楽しめる内 容になっています。何気なく行っている習慣やよく聞くう わさ話・迷信などについて、いつから、なんで、どこから、 という根元の部分を掘り下げて書かれています。



◆ 目次を見ると「ネットミームは現代の民間伝承」、「犬小屋の歴史・ネコの社会」など 面白い見出しが並んでいます。自分の興味のあるものを選んで読んでみることもで き、内容についての関連本も紹介されています。「民俗学」に初めて触れる一冊とし ておすすめの本になります。 (司書 シラコバト)





(旧 Twitter)

































皆さん、生き物はお好きでしょうか? 私は見る専門ではありますが、大好きです。図書館には、生き物に関する本がたくさんあります。図鑑はもちろん、変わった生態を持つ生き物をまとめた本や、ちょっとマイナー な動物の写真集、生き物に関する雑学を集めた本、絵本や動物が主人公の物語など、生き物の本といってもそのジャンルは様々です。今回は、生き物が好きな人は勿論、そうでもない人にもぜひ!お薦めしたい 本を紹介します。様々な生き物たちを愛で、知り、その活躍を楽しんでいただけたらと思います。

『タコとイカはどうちがう?』(峯水 亮/写真,池田 菜津美/文,杉本 親要/監修 ポプラ社)

腕や脚がたくさんある、体が柔らかそう、墨を吐く、調理のレパートリーが豊富、海に住んでいる……共通点の多い二種ですが、違うところは思いつきますか?

この絵本では、写真とイラストを交え、タコとイカの似ているところと違うところを、分かりやすく紹介しています。読んだ後に、水族館や海、スーパーなどで本物を見比べてみると、楽しいかもしれません。

『黒ねこサンゴロウ | 旅のはじまり』(竹下文子/作,鈴木まもる/絵 偕成社)

もしあなたが初めて一人で電車に乗り、遠くまで出かけることになったとして、隣の席に人間と同じサイズの二足歩行の黒猫が乗り込んできて、その猫から宝探しに誘われたら、どうしますか?主人公の少年ケン は、フルヤサンゴロウと名乗る黒猫と共に、チラシの裏に書かれた地図を頼りに、うみねこ族の宝を探す冒険に乗り出します。最初はちょっと特別な、でも平和な日常の延長だったのに、それがふとしたきっかけで ファンタジーに切り替わる物語は、主人公になりきって、わくわくドキドキしながら読み進められるのではと思います。

『ケープハイラックス』(渡辺克仁/著,遠藤秀紀/監修 東京書籍)

ケープハイラックスという生き物をご存じですか? むくむくした姿はネズミの仲間のように見えますが、イワダヌキ目イワダヌキ科、しかし実は象の仲間で、草食なのに鋭い牙を持っている、なんとも不思議な生き 物です。この本では、(とっても可愛い)豊富な写真とともに、ケープハイラックスの生態についてわかりやすく説明されています。日本で飼育している施設は多くはありませんが、実は静岡県内にも飼育している施 設があるんです。今年の夏は、この本で予習をしてから、ケープハイラックスに会いに行ってみてはいかがでしょうか♪

『じつは食べられるいきもの事典』(松原始/著,伊勢優史/著,ぽんとごたんだ/絵 宝島社)

牛、豚、鳥、魚、貝、甲殻類・・・・・大抵のスーパーでお目にかかる、食材として扱われている生き物は様々です。それ以外にも、イナゴ、ハチノコ、シカ、イノシシ、ナマコ・・・・・日本国内だけでも様々な生き物が食べら れています。では、世界ではどうでしょう? 日本では、食材として扱われていないだけでなく、愛玩動物として可愛がられていたり、動物園の人気者だったりする生き物も、国によってはおいしく調理されているそう です。「えっ!?この生き物も食べられるの!?」と驚くこと間違いなし! 具体的な調理法と味も紹介されています。

『べんりなしっぽ!ふしぎなしっぽ! いきもの写真館』(小宮輝之/文・写真 メディアパル)

しっぽを持つ生き物はたくさんいます。人間にもあったら便利だろうなと思うこともあるのですが、実際生き物のしっぽには様々な役割があるそうです。枝にぶら下がったり、体のバランスを取ったり、気持ちを表し たり……。動物園の元園長である著者が、選りすぐりの写真とともに、生き物のしっぽについてわかりやすく解説した本です。